

オリンピック・パラリンピック暑熱環境測定事業

平成29年度要求額
31百万円（新規）

背景・目的

事業目的・概要等

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間は一年でも特に暑い時期（7/25-9/6）。
 - ・大会会期中は日本の夏に不慣れな外国人を含む多数の観客が来訪。大会会場への移動、入場待機、観戦時などに多数が屋外で長時間を過ごすこととなり、熱中症対策が必須。
 - ・そのため、熱中症へのかかりやすさを示す「暑さ指数」を把握し、適切な予防的対策に資する。
- ※「暑さ指数」とは、人体に与える影響の大きい ①湿度、②日射等からの輻射熱（黒球温度）、③気温 の3つを取り入れた熱中症へのかかりやすさを示す指標です。

事業概要

(1)主要大会会場周辺の12地区を対象に**気温、湿度等を実測調査**

(2)主要大会会場周辺の12地区の**暑さ指数の推計手法を確立**

事業スキーム



期待される効果

- ①オリパラ大会の会場関連施設整備等の検討のための基礎情報として関係各機関において活用
- ②熱中症対策として、特にリスクの高い場所での暑さ指数の推計手法を確立し、大会開催期間の熱中症予防情報の発信において活用。

イメージ

現在の実測状況

